

平成30年3月12日

東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題	第19回奥出雲産直振興大会が盛大に開催される
-----	------------------------

(ダイジェスト)

平成30年2月22日～23日に奥出雲産直推進協議会（事務局：JA雲南）の第19回振興大会が、香川県仲多度郡琴平町において生産者115名、県等関係機関担当者22名の参加により盛大に開催されました。大会では農産物直売所の視察、研修会、懇親会が行われ生産者の栽培意欲向上を図りました。

当協議会は、雲南地域の22の産直組織（直売所）で構成され、会員数は2,956人に上ります。

今年で19回目を迎える今大会は、香川県における農業を学び今後の生産に生かし、産直活動が発展することを目指して各直売所に出荷する生産者、関係機関が一堂に会する事を目的に開催されました。

農産物直売所の視察では、香川県内最大級の規模の直売所などを訪れ、店内の品揃えや雰囲気、販売額向上のために工夫している点などを見学し、今後の生産・販売に向け良い刺激を受けることができました。

研修会ではJAしまね雲南地区本部加藤本部長から「今後は生産履歴簿の記入の徹底やGAPを推進し安全・安心を消費者に提供していく」と今後の方針が示されました。その後1市2町の市長、町長の臨席のもと、各市町の優秀事例発表と表彰、各地区に分かれワークショップを行いました。

ワークショップでは来年度からJAしまねが統一様式での記帳を進める栽培履歴簿についてや、日ごろの作業で感じていることなどの意見交換をしました。

懇親会では、今大会に参加した生産者の中で最年少の方と80代以上の生産者に記念品贈呈が行われるなど、世代や地区を超えた交流ができ、視察や研修会を含め充実した振興大会となりました。



優秀事例表彰



ワークショップの様子

今後も、当普及部は雲南地域一体となった産直活動に対して関係機関と連携し積極的に支援を継続していきます。